



楽しく、自由に、おしゃれに

ひらのよしのり  
**平野敬則**さん(画家)

画塾「関西美術院」で絵の基礎を学ぶ  
学生時代は抽象画を中心に制作活動を行う  
会社を定年退職後、水彩画を始める  
国展などで数々の作品を出展

NHK文化センター講師  
元わかば大学塾教授  
日本スケッチ画会会員  
透明水彩スケッチを楽しむ「楽画喜会」主宰  
彩西美術会会員

絵を本格的に始めたのは大学の頃からです。就職後は、絵を描く時間をほとんど取れませんでしたね。  
定年後、後半人生を考えたとき、また絵を描きたいと思いました。しかし、一人でコツコツと描くのは、あまり向いていないので、気軽に描けるグループがないかと探しました。しかし、なかなか見つからないので、それなら自分で作ってしまおうと「楽画喜会」を立ち上げました。その後「わかば大学塾」の設立に関わり、そのときに透明水彩の講座も開設しました。  
一口に絵といっても様々ですが、色々な方と一緒にやるには「水彩」が気軽に、また簡単だろうと考えて始めたのですが、これが難しかった(笑)。透明水彩は、透明であることが制作を難

絵の魅力



カレル橋にて

楽しくしているのです。とにかく塗り直しができません。気軽に始められますが、想像以上に奥が深いのが水彩です。

大切なこと

私自身は、とにかく「楽しく」「自由に」「おしゃれに」ということを心掛けています。  
「実物と違う」「写真とは違う」などといったところに気が向きがちになります。しかし、そんなことはどうでもいい(笑)。  
技法も大切ですが、もっと大切なのは、楽しんで伸び伸びと描くこと、心に残る絵を目指すことだと思います。



ア・カトクロ

これから

一つは、自分自身が納得のいく絵を描きたいことです。ゴールは無いかもしれませんが、やはりそこを目指したい。

編集後記

今回の特集では「障害のある方の生き生きと輝く姿を届けたい」という思いで、3名の方にお話を伺いました。皆さんそれぞれ境遇は違いますが、「仕事に就きたい」、「仕事が好き」、「ずっと働きたい」と笑顔で話す姿に、私も元気づけられました。(関連P2-5) ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ  
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp

もう一つは、市内にもっと絵の好きな人や、仲間を増やしたいですね。  
絵というのは人生に幸せと潤いをもたらしてくれるものだと思います。コロナの中、先日久しぶりに外で絵を描きました。皆さん待ち望んでいた様子で、生き生きとしていました。絵があることで生きていくのが楽しい、人生が楽しいって思える。  
これから絵を始めたいと思っている方は、お近くの市民センターの絵画教室などに相談してみるのが良いと思います。仲間と一緒に描くことは、お互いの刺激になり、楽しいものです。  
絵を描くことで、今までは違う新しい人生が開けますよ。